

株式会社大林組 2026年3月期 第3四半期 決算説明会プレゼンテーション資料

2026年2月9日

PRIME 1802



(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

INDEX



1 2025年度業績予想の修正について

2 2025年度第3四半期業績

3 2025年度業績予想

4 事業セグメント別の概況

1

2025年度業績予想の修正について



2025年度業績予想の修正について

2025年11月5日に公表した業績予想(以下、「前回発表予想」)について、以下のとおり再度修正

2025年度 通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	受注高
前回発表予想(A)	百万円 2,570,000	百万円 165,000	百万円 172,000	百万円 149,000	円 銭 214.01	百万円 2,920,000
今回修正予想(B)	2,570,000	195,000	205,000	170,000	244.03	3,050,000
増減額(B-A)	0	+30,000	+33,000	+21,000		+130,000

2025年度 通期個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	受注高
前回発表予想(A)	百万円 1,530,000	百万円 111,000	百万円 154,000	百万円 146,000	円 銭 209.70	百万円 1,653,000
今回修正予想(B)	1,515,000	136,000	182,000	165,000	236.85	1,653,000
増減額(B-A)	△15,000	+25,000	+28,000	+19,000		0

修正の理由

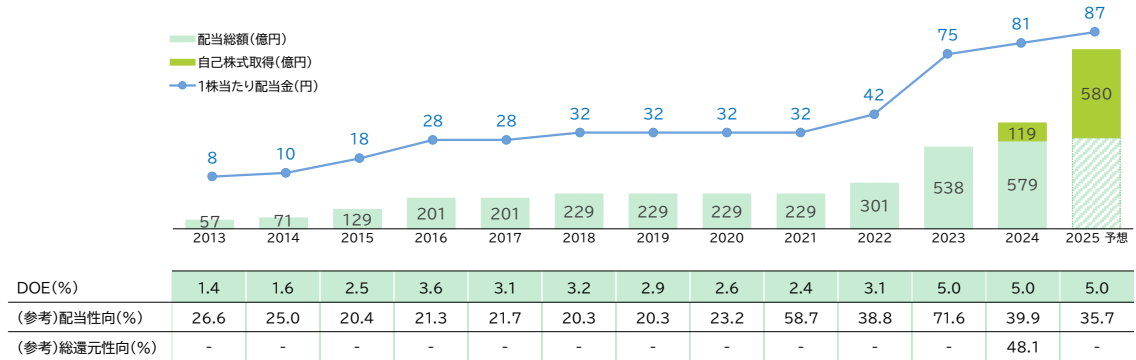
- 国内建築事業における、複数の大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減、追加・変更工事獲得などにより、完成工事総利益が増加したこと
- 国内土木事業における、複数の大型案件での設計変更獲得、完成工事高の増加などにより、完成工事総利益が増加したこと
- 海外建設事業における、手持ち工事の採算性改善などにより、完成工事総利益が増加したこと



2025年度配当予想の修正について

普通配当について、「自己資本配当率(DOE)5%程度」を目安とした配当方針に基づき、年間配当金は前回発表予想の1株あたり82円から5円増額の87円を予定

株主還元推移



※2013～2021年度のDOEは参考値

※DOE=年間配当総額(中間+期末)÷{(前期末自己資本+当期末自己資本)÷2}

中期経営計画2017

中期経営計画2022

2

2025年度第3四半期業績

2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

© OBAYASHI CORPORATION. All rights reserved.



2025年度第3四半期業績 サマリー(PL)

連結売上高

18,324億円

前年同期比 △679億円 (△3.6%)
進捗率 71.3%

連結営業利益

1,427億円

前年同期比 +451億円 (+46.2%)
進捗率 73.2%

親会社株主に帰属する 当期純利益

1,317億円

前年同期比 +357億円 (+37.3%)
進捗率 77.5%

連結受注高

20,095億円

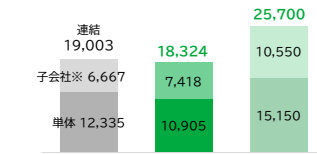
前年同期比 △947億円 (△4.5%)
進捗率 65.9%

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結売上高

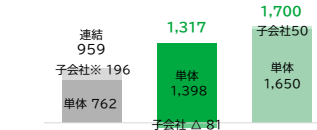
(単位:億円)



2024.3Q実績 2025.3Q実績 2025予想
国内建築事業において、2024年度の大型案件進捗の反動や施工キャパシティに見合った計画的な受注により完成工事高が減少し、前年同期比で減収

親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:億円)

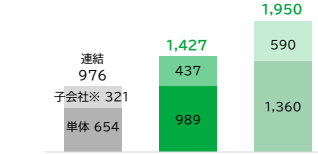


2024.3Q実績 2025.3Q実績 2025予想
国内建築事業を中心とした営業利益の増加などにより、前年同期比で増益(子会社のマイナスは、子会社の配当方針見直しによる連結仕訳に伴う一時的な影響によるもの)

※子会社には連結仕訳を含む

連結営業利益

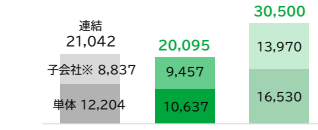
(単位:億円)



2024.3Q実績 2025.3Q実績 2025予想
国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木事業における持ちち工事の順調な進捗、不動産事業における開発物件売却などにより、前年同期比で増益

連結受注高

(単位:億円)



2024.3Q実績 2025.3Q実績 2025予想
国内建築・土木事業とも旺盛な需要が続く一方、2024年度の大型案件受注の反動や現状の施工キャパシティに鑑みた受注活動の継続により、前年同期比で減少

連結 / 単体 PL



(単位:億円)

(単位:億円)

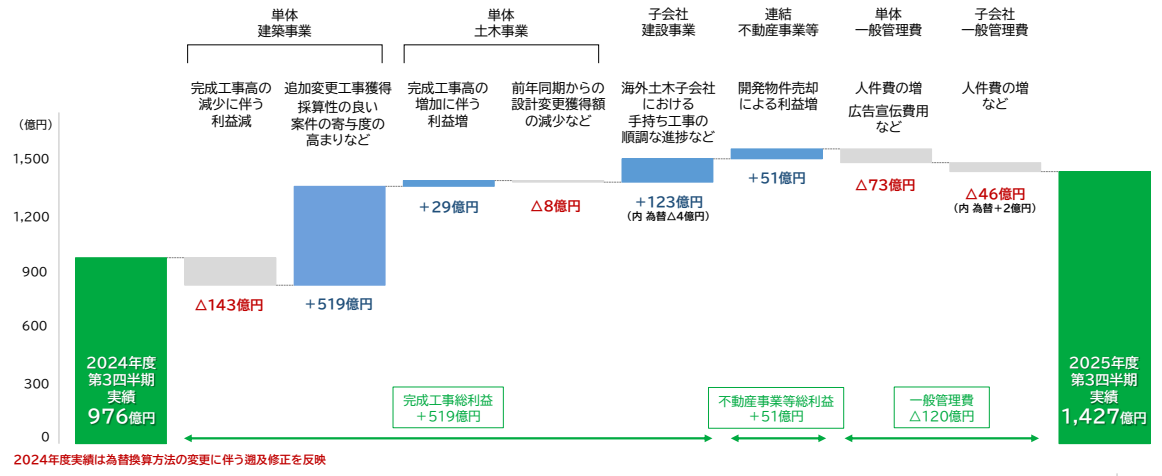
		連結					単体				
		2024年度 第3四半期 実績 A	2025年度 第3四半期 実績 B	増減額 B-A	2025年度 予想 C	進捗率(%) B/C	2024年度 第3四半期 実績 D	2025年度 第3四半期 実績 E	増減額 E-D	2025年度 予想 F	進捗率(%) E/F
完成工事高	建築	13,588	11,877	△1,711	16,500	72.0	9,703	8,040	△1,663	11,100	72.4
	土木	4,682	5,402	+719	7,500	72.0	2,485	2,640	+155	3,700	71.4
	計	18,270	17,279	△991	24,000	72.0	12,188	10,680	△1,508	14,800	72.2
不動産事業等売上高		732	1,045	+312	1,700	61.5	147	225	+77	350	64.3
売上高		19,003	18,324	△679	25,700	71.3	12,335	10,905	△1,430	15,150	72.0
完成工事総利益	建築	% -	-	% -	-	% -	8.7	839	15.1	1,215	15.2
	土木	-	-	-	-	-	18.9	468	18.5	489	17.8
	計	10.3	1,889	13.9	2,408	+519	10.7	1,308	16.0	1,704	+395
不動産事業等総利益		23.8	174	21.7	226	+51	20.0	29	18.8	42	+12
売上総利益		10.9	2,063	14.4	2,635	+571	10.8	1,338	16.0	1,746	+408
販売費及び一般管理費		5.8	1,087	6.6	1,208	+120	5.5	683	6.9	757	+73
営業利益		5.1	976	7.8	1,427	+451	5.3	654	9.1	989	+335
経常利益		5.6	1,061	8.3	1,516	+454	6.1	747	13.3	1,450	+702
親会社株主に帰属する当期純利益		5.0	959	7.2	1,317	+357	6.2	762	12.8	1,398	+635

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結営業利益の増減要因（対前年同期実績）

2025年度第3四半期の連結営業利益は、国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木子会社における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における第2四半期の開発物件売却などにより、前年同期比で増益となった



連結営業利益の前年同期実績からの増減要因

営業利益の増加要因

- ・単体建築事業：
 - 追加・変更工事の獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり
- ・子会社建設事業：
 - 海外土木子会社における手持ち工事の順調な進捗
- ・連結不動産事業等：
 - 不動産事業における開発物件の売却

報告セグメント別 PL



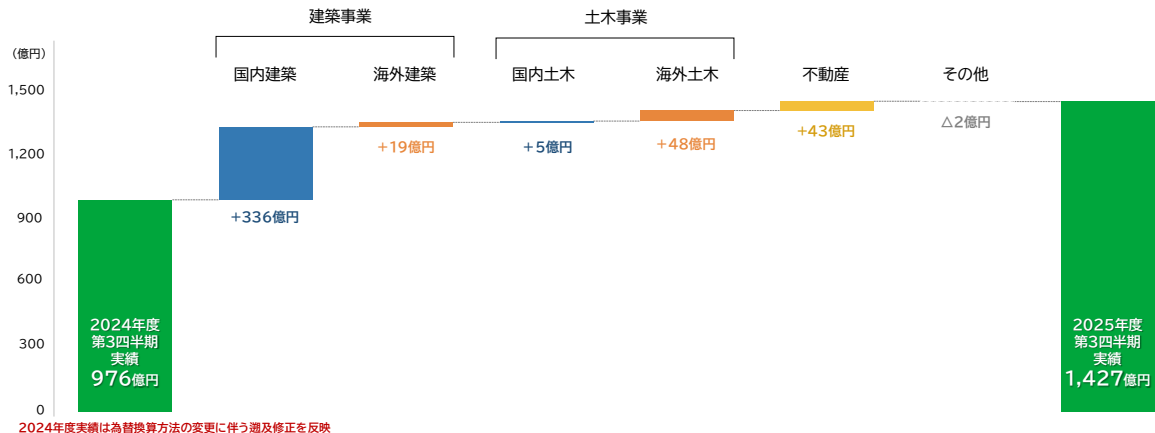
		(単位:億円)			(単位:億円)			(単位:億円)	
		2024年度 第3四半期 実績			2025年度 第3四半期 実績			増減額	
		売上高 A	営業利益 B	営業利益率 B/A	売上高 C	営業利益 D	営業利益率 D/C	売上高 C-A	営業利益 D-B
	国内建築	9,974	433	4.3%	8,291	769	9.3%	△1,682	+336
	海外建築	3,614	88	2.4%	3,585	108	3.0%	△28	+19
	建築	13,588	522	3.8%	11,877	877	7.4%	△1,711	+355
	国内土木	2,936	310	10.6%	3,079	316	10.3%	+142	+5
	海外土木	1,745	51	2.9%	2,323	100	4.3%	+577	+48
	土木	4,682	361	7.7%	5,402	416	7.7%	+719	+54
	建設事業	18,270	883	4.8%	17,279	1,293	7.5%	△991	+410
	不動産事業	390	77	19.8%	582	120	20.7%	+191	+43
	その他	342	15	4.4%	462	12	2.7%	+120	△2
	不動産事業等	732	92	12.6%	1,045	133	12.8%	+312	+40
合計		19,003	976	5.1%	18,324	1,427	7.8%	△679	+451

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映



連結営業利益の増減要因（報告セグメント別・対前年同期実績）

報告セグメント別営業利益の前年同期比での増加要因としては、国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木事業における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における第2四半期の開発物件売却などが挙げられる



© OBAYASHI CORPORATION. All rights reserved.

11

連結営業利益の前年同期実績からのセグメント別の増減要因

営業利益の増加要因

- ・国内建築事業：
 - 追加・変更工事の獲得や採算性の良い案件の高まり
- ・海外土木事業：
 - 子会社における手持ち工事の順調な進捗
- ・不動産事業：
 - 開発物件の売却



連結 / 単体 受注高

			(単位:億円)			(単位:億円)		
			連結			単体		
			2024年度 第3四半期 実績 A	2025年度 第3四半期 実績 B	増減額 B-A	2024年度 第3四半期 実績 C	2025年度 第3四半期 実績 D	増減額 D-C
建設事業	建築	国内	8,646	7,955	△690	8,302	7,730	△572
		海外	2,931	5,031	+2,099	38	26	△11
		計	11,578	12,987	+1,408	8,340	7,756	△584
	土木	国内	3,615	2,541	△1,073	3,037	1,867	△1,170
		海外	4,867	3,702	△1,164	678	779	+101
		計	8,482	6,244	△2,238	3,716	2,647	△1,068
	計	国内	12,261	10,497	△1,764	11,340	9,598	△1,742
		海外	7,799	8,734	+934	716	806	+89
		計	20,061	19,231	△829	12,057	10,404	△1,652
	不動産事業等		980	863	△117	147	232	+85
合計		21,042	20,095	△947	12,204	10,637	△1,567	

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結 BS

2025年3月末

(単位:億円)

流動資産	18,094	流動負債	14,533
		固定負債	3,792
固定資産	12,333	資本(純資産)	12,102
		うち自己資本	11,582

総資産
30,427億円

2025年12月末

(単位:億円)

流動資産	18,495	流動負債	14,924
		固定負債	4,049
固定資産	12,961	資本(純資産)	12,483
		うち自己資本	11,941

総資産
31,457億円

資産／負債:主な残高・増減

(単位:億円)	25年3月末	25年12月末	増減額
現金預金	3,947	3,350	△596
政策保有株式	2,735	2,842	+106
有利子負債	3,627	5,014	+1,387
建設事業収支(工事関連資産-負債)※	2,289	3,129	+839

※工事関連資産=受取手形・完成工事未収入金等+電子記録債権+未成工事支出金+PFI等無形資産
工事関連負債=支払手形・工事未払金等+電子記録債務+未成工事受入金

自己資本:主な増減

(単位:億円)	
2025年3月(前期)末自己資本残高	11,582
当期利益	+1,317
配当支払	△577
自己株式取得	△580
その他の包括利益のうち	
A) 政策保有株式の売却による影響	△279
B) 有価証券の株価変動等による影響	+454
C) 為替換算調整勘定	△19
その他	+44
2025年12月(当第3四半期)末自己資本残高	11,941

2025年3月末から2025年12月末の連結BSの推移

- ・現金預金 : 協力会社への支払い先行により減少
- ・政策保有株式: 売却進捗の一方、保有株式の株価上昇により増加
- ・有利子負債 : 施工の進捗に伴う資金需要などにより増加
- ・自己資本 : (+) 当期利益 1,317億円
有価証券の株価上昇 454億円
(-) 配当支払 577億円
自己株式取得 580億円
政策保有株式の売却 279億円
その結果、2025年3月末から増加

3

2025年度業績予想

2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

14



2025年度業績予想 サマリー(PL)

連結売上高

25,700億円

前期比 △207億円 (△0.8%)

連結営業利益

1,950億円

前期比 +525億円 (+36.9%)

親会社株主に帰属する 当期純利益

1,700億円

前期比 +246億円 (+17.0%)

連結受注高

30,500億円

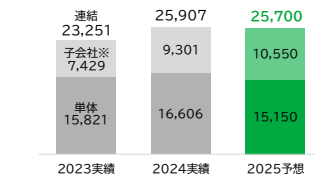
前期比 △2,666億円 (△8.0%)

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

連結売上高

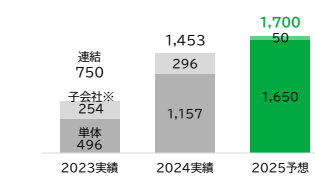
(単位:億円)



国内建築事業において、2024年度の大型案件進捗の反動や施工キャパシティに見合った計画的な受注などにより完成工事高が減少し、前期比で減収見込み

親会社株主に帰属する 当期純利益

(単位:億円)

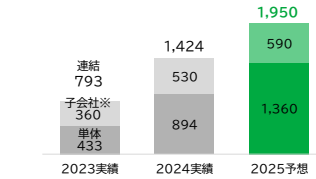


国内建築事業を中心とした営業利益の増加などにより、前期比で増益見込み

※子会社には連結仕訳を含む

連結営業利益

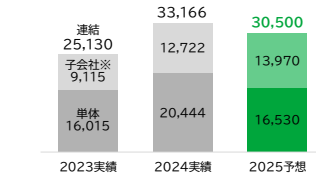
(単位:億円)



国内建築事業における複数大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減や追加・変更工事獲得、国内土木事業における設計変更獲得、海外建設事業における採算改善などにより、前期比増益見込み

連結受注高

(単位:億円)



国内建築・土木事業とも旺盛な需要が続く一方、2024年度の大型案件受注の反動や現状の施工キャパシティに鑑みた受注活動の継続により、前期比で減少見込み



2025年度業績予想 サマリー(財政状態)

連結
自己資本

12,200億円

前期比 +617億円 (+5.3%)

連結
有利子負債

3,400億円

前期比 △227億円 (△6.3%)

ROIC

8.5%

前期比 +2.1pt

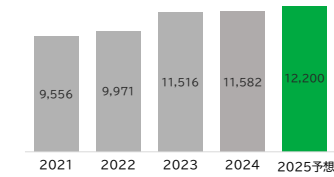
ROE

14.3%

前期比 +1.7pt

連結自己資本

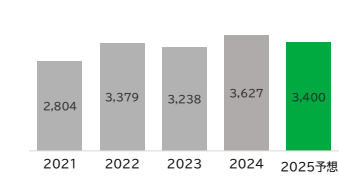
(単位:億円)



2月9日に適時開示した業績予想の修正等により、連結自己資本は前期比で増加する見込み(※)

連結有利子負債

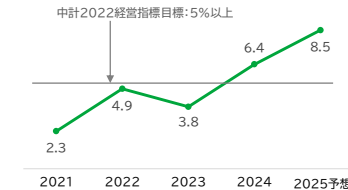
(単位:億円)



複数の大型工事の竣工に伴い、2025年度においては未収施工高の回収が進むことから、有利子負債は減少する見通し

ROIC

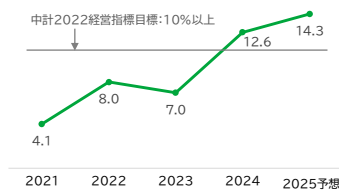
(単位:%)



ROICは、営業利益の増加により、2024年度を上回る見通し

ROE

(単位:%)



ROEは、2024年度に続き、高い水準を維持できる見通し

2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う適及修正を反映

※ 2025年12月末の自己資本額に2025年度第4四半期の当期純利益予想額、実施済みの自己株式取得による影響額、配当支払による利益剰余金の減少額および政策保有株式売却によるその他有価証券評価差額金の調整額を加減算した値

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

連結 / 単体 PL 予想



(単位:億円)

		連結		
		2024年度 実績 A	2025年度 予想 B	増減額 B-A
完成工事高	建築	18,150	16,500	△1,650
	土木	6,527	7,500	+972
	計	24,677	24,000	△677
不動産事業等売上高		1,230	1,700	+469
売上高		25,907	25,700	△207
完成工事総利益	建築	-	-	-
	土木	-	-	-
	計	10.8	13.8	+665
不動産事業等総利益		24.4	19.4	+30
売上総利益		11.4	14.2	+696
販売費及び一般管理費		5.9	6.6	+170
営業利益		5.5	7.6	+525
経常利益		5.9	8.0	+527
親会社株主に帰属する当期純利益		5.6	6.6	+246

2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

(単位:億円)

		単体		
		2024年度 実績 C	2025年度 予想 D	増減額 D-C
完成工事高		12,977	11,100	△1,877
		3,386	3,700	+313
		16,363	14,800	△1,563
不動産事業等売上高		243	350	+106
売上高		16,606	15,150	△1,456
完成工事総利益		9.1	15.2	+509
		18.3	17.8	+40
		11.0	15.9	+550
不動産事業等総利益		20.1	17.1	+11
売上総利益		11.1	15.9	+561
販売費及び一般管理費		5.7	6.9	+95
営業利益		5.4	9.0	+465
経常利益		5.9	12.0	+833
親会社株主に帰属する当期純利益		7.0	10.9	+492

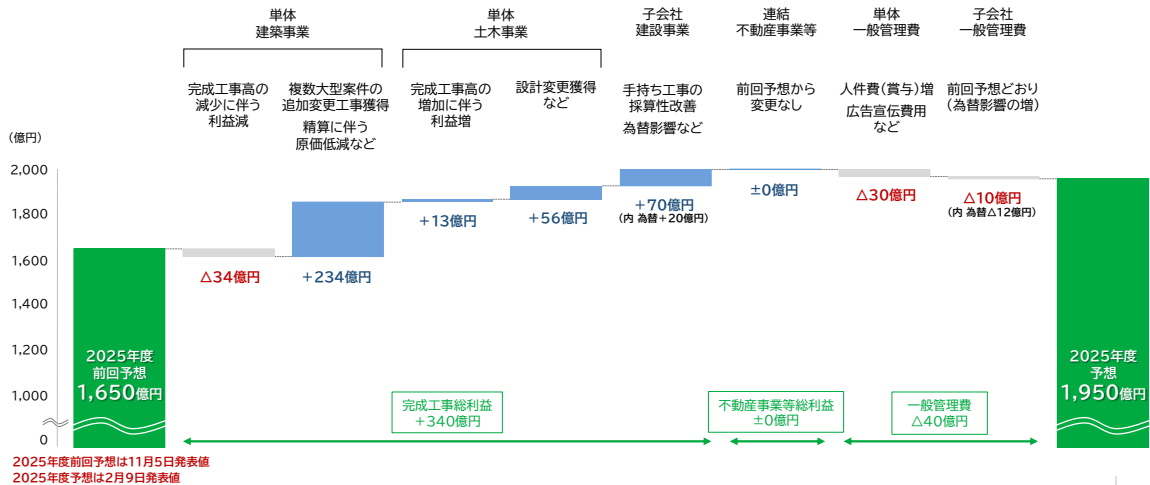
© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

17



連結営業利益の増減要因 予想(対前回予想)

連結営業利益予想は、国内建築事業における複数の大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減や追加・変更工事獲得、国内土木事業における設計変更獲得、海外建設子会社における手持ち工事の採算性改善などにより、1,950億円に上方修正



連結営業利益の前回予想(2025年11月5日発表)からの増減要因

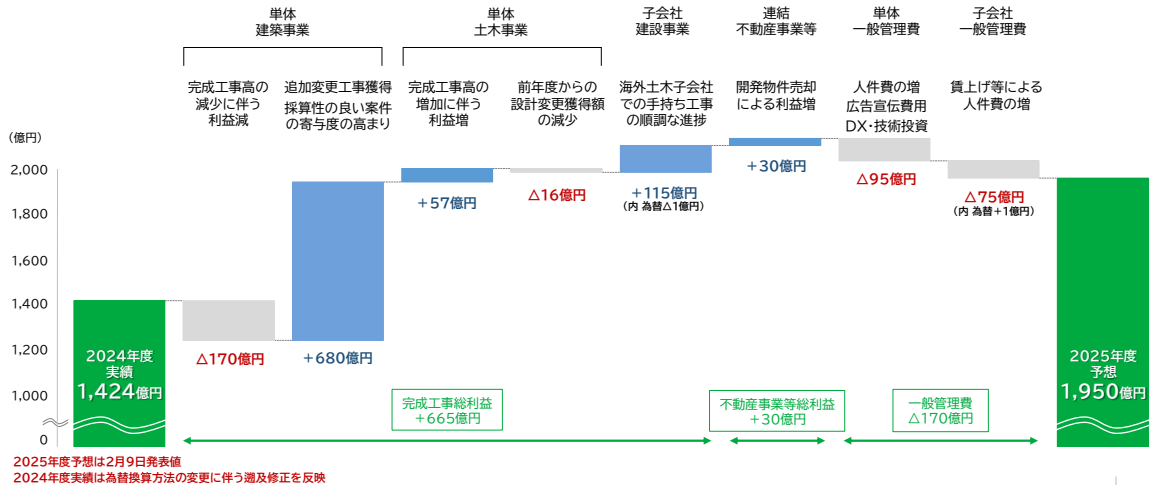
営業利益の増加要因

- ・単体建築事業：
複数の大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減や追加・変更工事獲得
- ・単体土木事業：
設計変更獲得
- ・子会社建設事業：
海外建設子会社における手持ち工事の採算改善



連結営業利益の増減要因 予想(対2024年度実績)

連結営業利益予想は、国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木子会社における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における開発物件売却などにより、前期比525億円増の1,950億円となる見通し



© OBAYASHI CORPORATION. All rights reserved.

19

連結営業利益の2024年度実績からのセグメント別の増減要因

営業利益の増加要因

- ・国内建築事業：
 - 追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり
- ・海外土木事業：
 - 子会社における手持ち工事の順調な進捗
- ・不動産事業：
 - 開発物件の売却

報告セグメント別 PL 予想



		(単位:億円)			(単位:億円)			(単位:億円)	
		2024年度 実績			2025年度 予想			増減額	
		売上高 A	営業利益 B	営業利益率 B/A	売上高 C	営業利益 D	営業利益率 D/C	売上高 C-A	営業利益 D-B
	国内建築	13,371	627	4.7%	11,500	1,070	9.3%	△1,871	+442
	海外建築	4,778	128	2.7%	5,000	120	2.4%	+221	△8
	建築	18,150	755	4.2%	16,500	1,190	7.2%	△1,650	+434
	国内土木	4,022	405	10.1%	4,250	420	9.9%	+227	+14
	海外土木	2,504	80	3.2%	3,250	140	4.3%	+745	+59
	土木	6,527	485	7.4%	7,500	560	7.5%	+972	+74
	建設事業	24,677	1,241	5.0%	24,000	1,750	7.3%	△677	+508
	不動産事業	727	160	22.1%	1,020	185	18.1%	+292	+24
	その他	502	22	4.4%	680	15	2.2%	+177	△7
	不動産事業等	1,230	182	14.9%	1,700	200	11.8%	+469	+17
合計		25,907	1,424	5.5%	25,700	1,950	7.6%	△207	+525

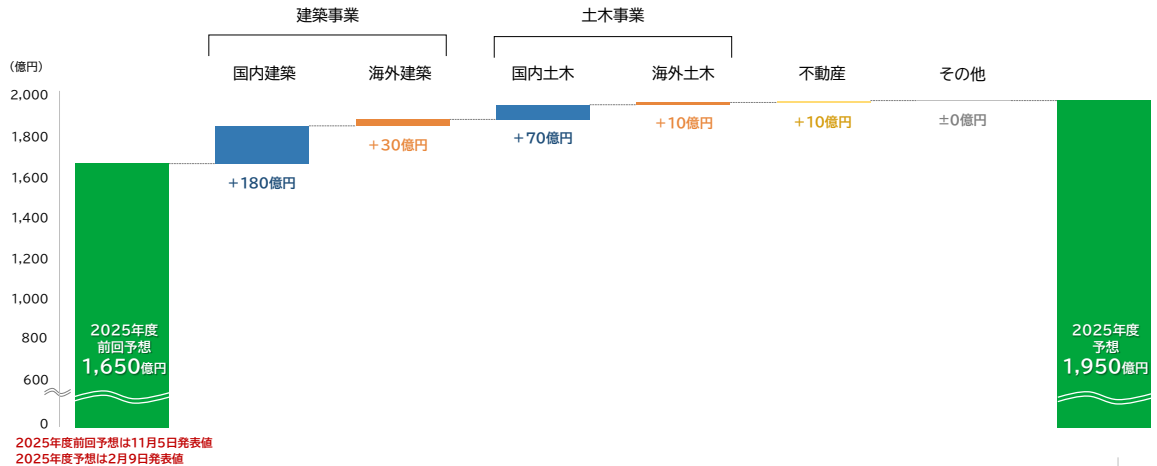
2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.



連結営業利益の増減要因 予想（報告セグメント別・対前回予想）

報告セグメント別営業利益の前回予想比での増加要因としては、国内建築事業における複数の大型案件やその他工期終盤の案件での原価低減や追加・変更工事獲得、国内土木事業における設計変更獲得、海外建設子会社における手持ち工事の採算性改善などが挙げられる



連結営業利益の前回予想(2025年11月5日発表)からのセグメント別の増減要因

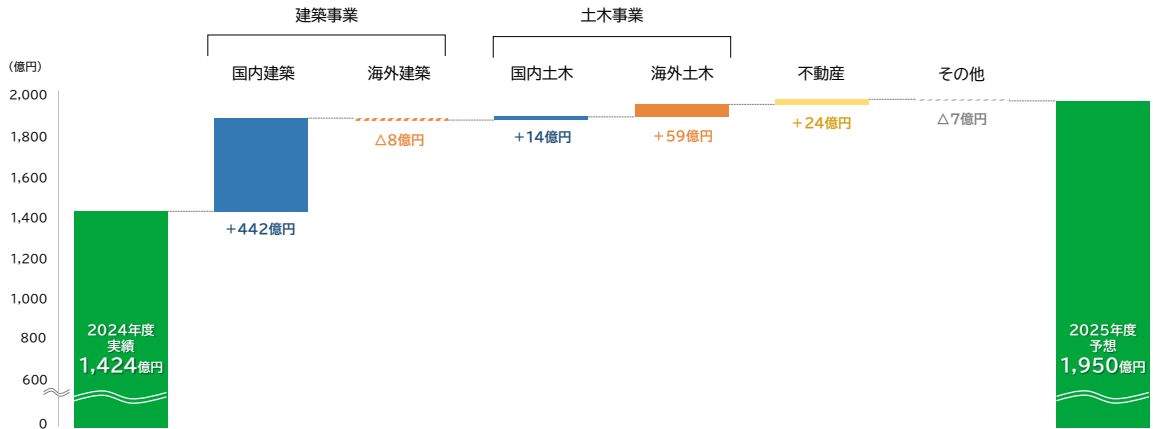
営業利益の増加要因

- ・国内建築事業：
複数の大型案件やその他竣工期終盤の案件での原価低減や追加・変更工事の獲得
- ・国内土木事業：
設計変更獲得
- ・海外建設事業：
子会社における手持ち工事の採算改善



連結営業利益の増減要因 予想（報告セグメント別・対2024年度実績）

報告セグメント別営業利益の前期比での増加要因としては、国内建築事業における追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり、海外土木子会社における手持ち工事の順調な進捗、不動産事業における開発物件売却などが挙げられる



2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

22

連結営業利益の2024年度実績からのセグメント別の増減要因

営業利益の増加要因

- ・国内建築事業：
 - 追加・変更工事獲得や採算性の良い案件の寄与度の高まり
- ・海外土木事業：
 - 子会社における手持ち工事の順調な進捗
- ・不動産事業：
 - 開発物件の売却



国内建設事業の受注環境について

国内建築

マーケットの状況

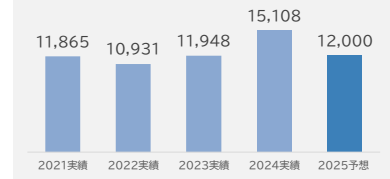
- 生産拠点の国内回帰や政府の特定重要物資の指定により、半導体、工作機械、一般機械、電気機械など、幅広い分野の建設需要を押し上げ
- 計画中止・延期となる案件も一部見られるものの、都市部の大型再開発やデータセンターの需要も継続
- 工事計画情報量は2028年度まで高水準で積み上がる一方、施工キャパシティやサプライチェーンの確保などを考慮して取組み案件を厳選している状況。引き続き採算性を重視した受注活動を継続

2025年度予想(単体)

- 2025年度予想:12,000億円
- 2025年度は施工キャパシティに見合った受注高計画とし、順調に進捗

受注高の推移(単体国内建築)

(単位:億円)



国内土木

マーケットの状況

- 官庁工事は、防災・減災、国土強靱化対策事業などで堅調に推移。全体として概ね横ばいからやや拡大傾向で推移すると予想。今後発注が増えることが見込まれる防衛関連施設整備事業にも期待
- 民間工事は、首都圏の鉄道工事に加え、再生可能エネルギーや脱炭素関連ビジネスの市場拡大が期待できるなど、当面は底堅く推移すると予想
- 官庁工事は入札が原則であり、競争環境が厳しい状況に変化はない

2025年度予想(単体)

- 2025年度予想:3,300億円
- 2025年度は施工キャパシティに見合った受注高計画とし、順調に進捗

2025年度予想は2月9日発表値

受注高の推移(単体国内土木)

(単位:億円)



海外建設事業の受注環境について

海外建築

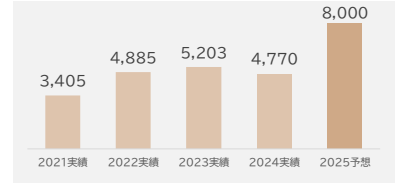
マーケットの状況

- 北米では、主要子会社ウェブコーのメインターゲットである民間不動産デベロッパーを中心に、昨今の金利政策等の影響により設備投資が停滞していたが、利下げ局面に入り改善の兆しがみられる。公共の教育、医療施設も安定的に成長
- アジアでは、東南アジア各国により波はあるものの、全体としては設備投資が堅調に推移する見込み
- 北米・アジアのいずれにおいても、トランプ政権による相互関税政策の影響について注視が必要

2025年度予想(連結)

- 2025年度予想:8,000億円
- 2025年度は北米・アジア両地域における大型工事受注により、2024年度から大幅に増加する見通し

受注高の推移(連結海外建築)



海外土木

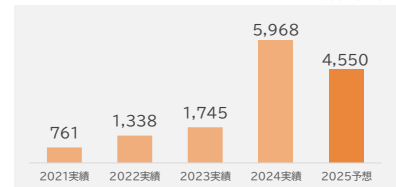
マーケットの状況

- 北米では、2025年以降もインフラ・土木分野において安定的な市場成長が見込まれ、水処理施設を手掛けるMWH社(2023年度連結子会社化)においても旺盛な需要が継続
- アジアでは、エネルギーや交通インフラ関連の建設投資を中心に堅調に推移する見込み

2025年度予想(連結)

- 2025年度予想:4,550億円
- 2025年度は前年度の大型案件受注による反動減を見込むも、安定的に受注を確保する見通し

受注高の推移(連結海外土木)



2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う過及修正を反映



連結 / 単体 受注高 予想

			(単位:億円)			(単位:億円)		
			連結			単体		
			2024年度 実績 A	2025年度 予想 B	増減額 B-A	2024年度 実績 C	2025年度 予想 D	増減額 D-C
建設事業	建築	国内	15,545	12,450	△3,095	15,108	12,000	△3,108
		海外	4,770	8,000	+3,229	54	60	+5
		計	20,316	20,450	+133	15,162	12,060	△3,102
	土木	国内	5,334	4,100	△1,234	4,568	3,300	△1,268
		海外	5,968	4,550	△1,418	469	850	+380
		計	11,302	8,650	△2,652	5,038	4,150	△888
	計	国内	20,879	16,550	△4,329	19,676	15,300	△4,376
		海外	10,739	12,550	+1,810	524	910	+385
		計	31,618	29,100	△2,518	20,200	16,210	△3,990
	不動産事業等			1,547	1,400	△147	243	320
合計			33,166	30,500	△2,666	20,444	16,530	△3,914

2025年度予想は2月9日発表値
2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

4

事業セグメント別の概況

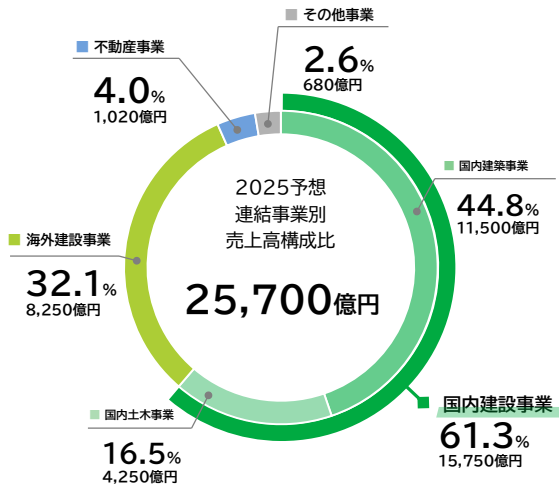
2025年度予想は2月9日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

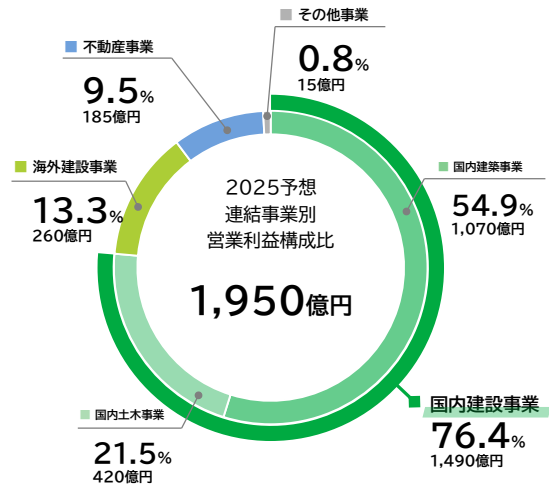
© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

26

事業規模



2025年度予想は2月9日発表値

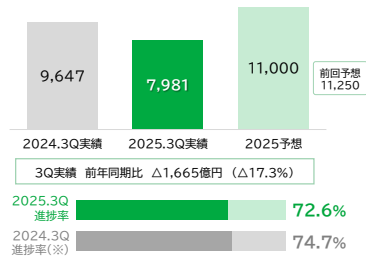




国内建築事業(単体)

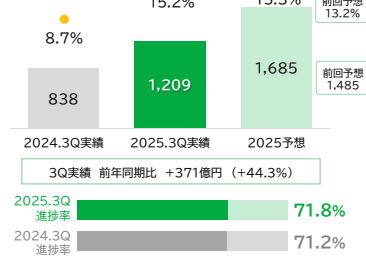
完成工事高

(単位:億円)



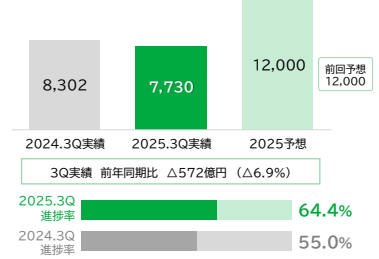
完成工事総利益/率

(単位:億円)



受注高

(単位:億円)



2025年度第3四半期業績

- 完成工事高は、2024年度の大型案件進捗の反動や施工キャパシティに見合った計画的な受注などにより、前年同期比1,665億円の減収
- 完成工事総利益は、追加請負金や追加変更工事獲得、採算性の良い案件の寄与の高まりなどにより、前年同期比371億円の増益
- 受注高は、2024年度の大型案件受注の反動や現状の施工キャパシティに鑑みた受注活動の継続により、前年同期比572億円の減少

2025年度予想は2月9日発表値
前回予想は11月5日発表値

2025年度通期見通し

- 完成工事高は、2024年度の大型案件進捗の反動や施工キャパシティに見合った計画的な受注などにより、前期比で減収見込み
- 完成工事総利益は、複数大型案件やその他工期終盤の案件において、追加請負金や追加変更工事の獲得、精算に伴う工事原価の精査等により損益が改善し、前期比で大幅増益見込み
- 受注高は、2024年度の大型案件受注ならびに現状の施工キャパシティに鑑み、前期比で大幅減となる見込み

© OBAYASHI CORPORATION. All rights reserved.

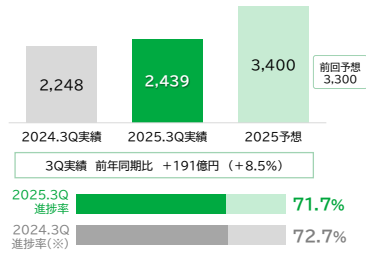
28



国内土木事業(単体)

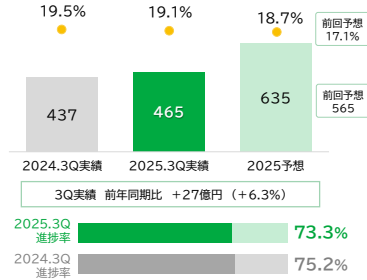
完成工事高

(単位:億円)



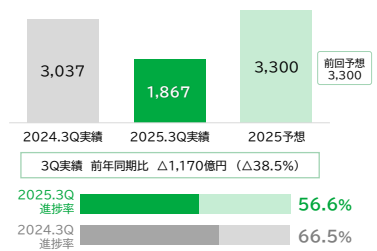
完成工事総利益/率

(単位:億円)



受注高

(単位:億円)



2025年度第3四半期業績

- 完成工事高は、手持ち工事の順調な進捗により、前年同期比191億円の増収
- 完成工事総利益は、完成工事高の増加に伴い、前年同期比27億円の増益
- 受注高は、前年同期に比べ大型案件の受注が減少したことにより、1,170億円の減少

2025年度通期見通し

- 完成工事高は、引き続き手持ち工事が順調に進捗し、前期比で増収見込み
- 完成工事総利益は、完成工事高の増加に加え、複数大型案件での設計変更獲得や原価低減による損益改善を織り込み、前期比で増益見込み
- 受注高は、過年度の受注量と現状の施工キャパシティに鑑み、前期比で大幅減となる見込み

2025年度予想は2月9日発表値
前回予想は11月5日発表値

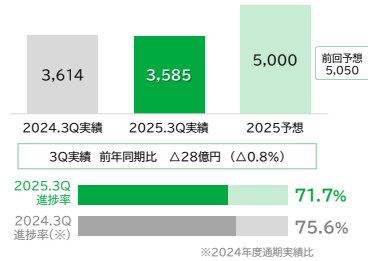
© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.



海外建築事業(連結)

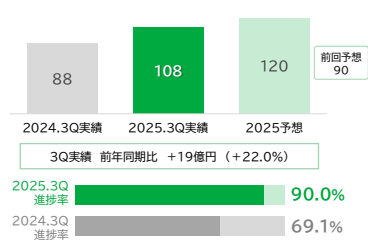
完成工事高

(単位:億円)



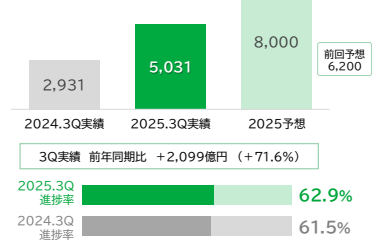
営業利益

(単位:億円)



受注高

(単位:億円)



2025年度第3四半期業績

- 完成工事高は、アジア地域における大型案件の順調な進捗の一方、北米地域における過年度の受注高減少の影響などにより、前年同期比28億円の減収
- 営業利益は、シンガポールを中心としたアジア地域における大型案件の順調な進捗などにより、前年同期比19億円の増益
- 受注高は、北米・アジア両地域における大型案件の受注により、前年同期比2,099億円の増加

2025年度通期見通し

- 完成工事高は、北米地域における過年度の受注高減少の一方、手持ち工事が豊富な大林シンガポールの大幅増収などがカバーし、前期比で増収見込み
- 営業利益は、北米子会社における減収の影響などから、前期比で減益見込み
- 受注高は、北米・アジア両地域における大型案件の受注により、前期比で大幅増となる見込み

2025年度予想は2月9日発表値

前回予想は11月5日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

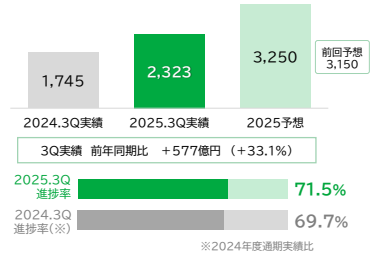
© OBAYASHI CORPORATION. All rights reserved.



海外土木事業(連結)

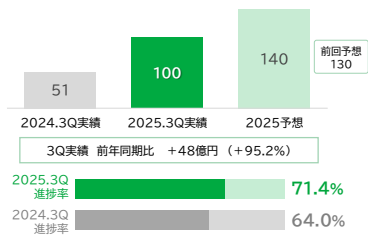
完成工事高

(単位:億円)



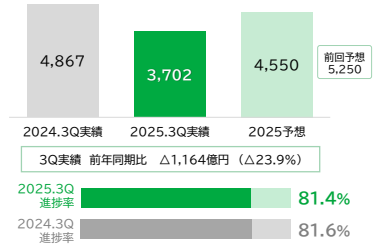
営業利益

(単位:億円)



受注高

(単位:億円)



2025年度第3四半期業績

- 完成工事高は、北米子会社の豊富な手持ち工事の進捗により、前年同期比577億円の増収
- 営業利益は、完成工事高の増加に伴い、前年同期比48億円の増益
- 受注高は、アジア地域における大型案件受注の一方、北米子会社における2024年度の大型案件受注の反動により、前年同期比1,164億円の減少

2025年度通期見通し

- 完成工事高は、北米子会社の豊富な手持ち工事の進捗により、前期比で増収見込み
- 営業利益は、完成工事高の増加に加え、高採算案件の順調な進捗により、前期比で増益見込み
- 受注高は、北米子会社における2024年度の大型案件受注の反動などにより、前期比で減少見込み

2025年度予想は2月9日発表値

前回予想は11月5日発表値

2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う遡及修正を反映

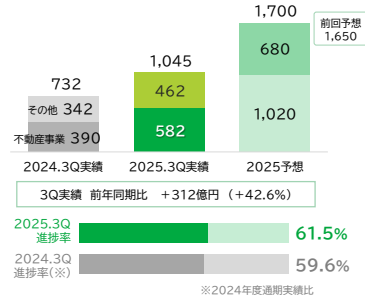
© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.



不動産・その他事業(連結)

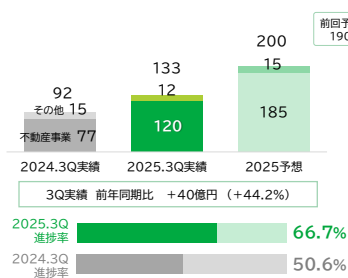
売上高

(単位:億円)



営業利益

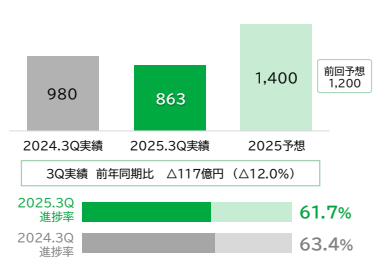
(単位:億円)



受注高

(単位:億円)

(不動産事業/その他の内訳は非開示)



2025年度第3四半期業績

- 売上高は、不動産事業における第2四半期の開発物件売却や、その他事業における設計関連業務の収入増などにより、前年同期比312億円の増収
- 営業利益は、不動産事業における第2四半期の開発物件売却などにより、前年同期比40億円の増益

2025年度通期見通し

- 売上高は、不動産事業における開発物件売却や、その他事業における設計関連業務の収入増、複数のPPP事業開始などにより、前期比で増収見込み
- 営業利益は、不動産事業における開発物件売却などにより、前期比で増益見込み

2025年度予想は2月9日発表値
 前回予想は11月5日発表値(不動産・その他事業の合計値)
 2024年度実績は為替換算方法の変更に伴う過及修正を反映

© OBAYASHI CORPORATION, All rights reserved.

MAKE BEYOND

つくるを拓く



私たちは、「ものづくり」の会社です。

その「ものづくり」の技術と知見を、

今までにないやり方で、活かしてみようと思うのです。

時代の先を思い描く、構想力。

必ずかたちにしてみせる、実現力。

そして、一人ひとりに真摯に向き合う、人間力。

これまで培ってきた力を強みに、

建設の枠を超え、新しい領域を拓いてゆくこと。

それが、これからの私たちの使命。

世界は不確かで、複雑さを増しています。

でも、そんな時代だからこそ、

私たちの「ものづくり」の考えが、新しい地平を拓ききっかけになる。

人々の暮らしを豊かで持続可能なものにする土台になる。

そう信じています。

さあ、「ものづくり」の次へ。

次の、大林組へ。